

【第1回】

**東京都太陽光発電設備
高度循環利用推進協議会**

2022年9月1日（木）

10：00～

本日の次第

1. 開会挨拶
2. 協議会委員の紹介
3. 協議会立ち上げの経緯
4. 今年度協議会で実施する事項
5. スケジュール
6. その他

協議会委員

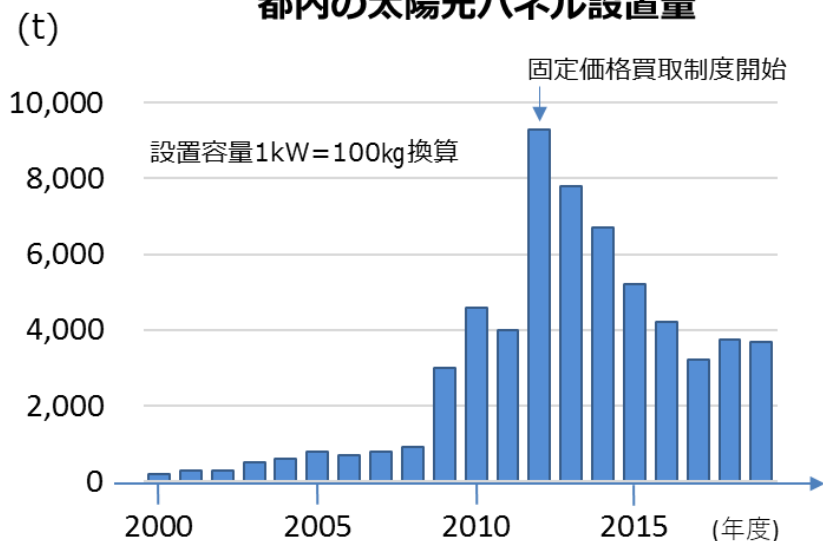
区分	団体名・企業名	役職・氏名（敬称略）
メンテナンス業者・ 検査修理業者	一般社団法人 日本太陽光メンテナンス協会	幹事 増田 幹弘
	一般社団法人 新エネルギーO&M協議会	専務理事 大門 敏男
取外し・解体業者	一般社団法人 東京建物解体協会	副会長 高橋 仁
収集運搬業者・ リサイクル業者	一般社団法人 東京都産業資源循環協会	株式会社浜田 経営企画室環境ソリューション研究所課長 浪越 悠介
		株式会社リーテム 営業ユニット長兼営業部長 山崎 隆久
リユース業者		株式会社エヌ・ピー・シー 環境関連営業部環境営業グループ長 宇田 賢司
		ネクストエネルギー・アンド・リソース株式会社 社長室シニアマネージャー 小野 広弥
		丸紅株式会社 電力アセットマネジメント部副部長 渡辺 剛史
ハウスメーカー	一般社団法人 住宅生産団体連合会	積水ハウス株式会社 ESG経営推進本部環境推進部課長 村井 孝嗣
モジュールメーカー	一般社団法人 太陽光発電協会	適正処理・リサイクル研究会リーダー 西堀 仁
販売・施工業者	一般社団法人 日本PVプランナー協会	常務理事兼事務局長 大槻 浩之

協議会立ち上げの経緯

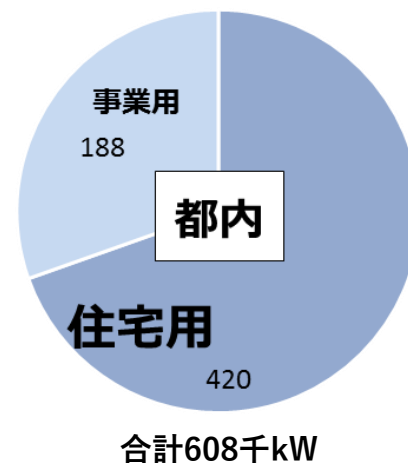
■ 背景・現状

- 2012年の固定価格買取制度開始以降、パネル設置が急速に拡大
- 事業用太陽光パネルは、既に廃棄実績があり、リユース・リサイクルルートが存在している
- パネル寿命は20～30年とされており、現在は、住宅用太陽光パネルの廃棄の実績はほとんど無い状況
- しかし、設置済の太陽光パネルは約608千kW（2019年度段階）あり、2030年代半ば以降に大量廃棄を迎える
- 何も対応をしなければ、破碎後、埋立処分へ流れていくことが危惧され、高度循環利用が進まないばかりか、最終処分場のひっ迫も懸念される
- 一方で、太陽光パネル設置義務化に伴い、都民のパネル廃棄への不安が新たに浮上

都内の太陽光パネル設置量



2019年度末までの太陽光パネル導入量累計
(単位 千kW)



協議会立ち上げの経緯

■ これまでの対応状況

リサイクル検討会における検討 (2018年8月～2022年6月)

- ✓ 住宅用パネルの実態把握やリユース・リサイクル等の高度循環利用について検討

大学提案事業における研究・実証 (2019年4月～2022年3月)

- ✓ 早稲田大学や事業者等と連携し、住宅用パネルのリユース・リサイクル等の技術的課題の解決に向け、先行的に様々な実証事業を実施

■ 住宅用パネルのリサイクル等の課題と対応案

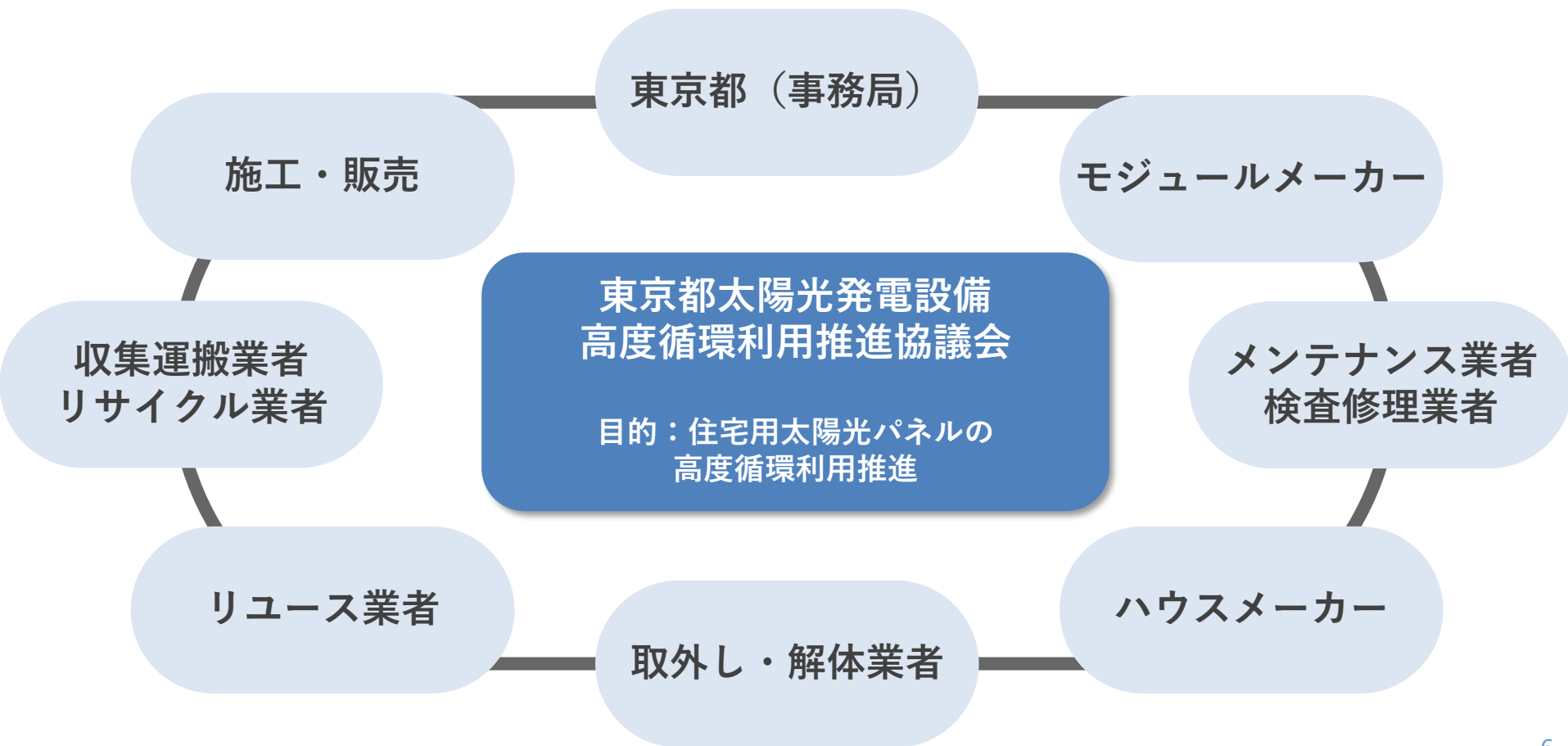
	課題	対応案
長期利用 性能診断	<ul style="list-style-type: none">• 長期利用のためのメンテナンスが不十分• 発電性能が未把握なためリユースが進まない	<ul style="list-style-type: none">• 適切なメンテナンスについて都民向けに周知• 簡易な検査装置等により発電性能を把握
取り外し	<ul style="list-style-type: none">• 取り外し時の感電防止措置が不十分• リサイクル方法・費用等の周知が不十分	<ul style="list-style-type: none">• 安全に取り外すための対策マニュアルを策定• 関係事業者等を通じてリサイクルについて周知
収集運搬	<ul style="list-style-type: none">• 住宅用は一件当たりの排出量が少なく収集運搬等が非効率なためコストが割高になる	<ul style="list-style-type: none">• 事業者と連携し、一時保管所への集約など効率的な収集運搬ルート構築や補助等を含む支援を検討
リユース リサイクル	<ul style="list-style-type: none">• 住宅用パネルのリユース・リサイクルのルートが整備されていない	<ul style="list-style-type: none">• 近年増加しているリサイクル施設等を活用し、処理を開始

- ✓ 事業用パネルのリサイクル等のノウハウを持つ関係事業者と連携し、既存の事業用ルートを活用することで住宅用パネルのリサイクルを実施することが効果的
- ✓ 6月1日の最終検討会において、上記課題への対応方針を検討会の報告書として取りまとめ

協議会立ち上げの経緯

■ 今後の取組

- ✓ 検討会の最終報告書を踏まえ、都と関係事業者による「**東京都太陽光発電設備高度循環利用推進協議会**」を今回立ち上げ
- ✓ 協議会がハブとなり、住宅用パネルの**高度循環利用推進**（リユース・リサイクルルート構築の具体化等）に取り組む



今年度協議会で実施する事項

(1) リサイクルの実施

- 協議会において連携し、住宅用太陽光パネルの撤去案件を掘り起こし
- 実際にリサイクルを行い、課題やノウハウを蓄積

(2) マニュアルの作成・周知

- 解体業者等、収集運搬業者向けに、住宅用太陽光パネルのリユース・リサイクルに必要な作業について分かりやすく伝えるマニュアルを作成
- 協議会メンバーを通じて、関係者へのマニュアルの周知を図る

(3) 情報提供・周知等

- 住宅用太陽光パネルを廃棄する際に、リユース・リサイクルを行うことを促すための普及啓発用リーフレットを作成し、協議会メンバーと連携して周知
- 住民向け相談窓口立ち上げの検討

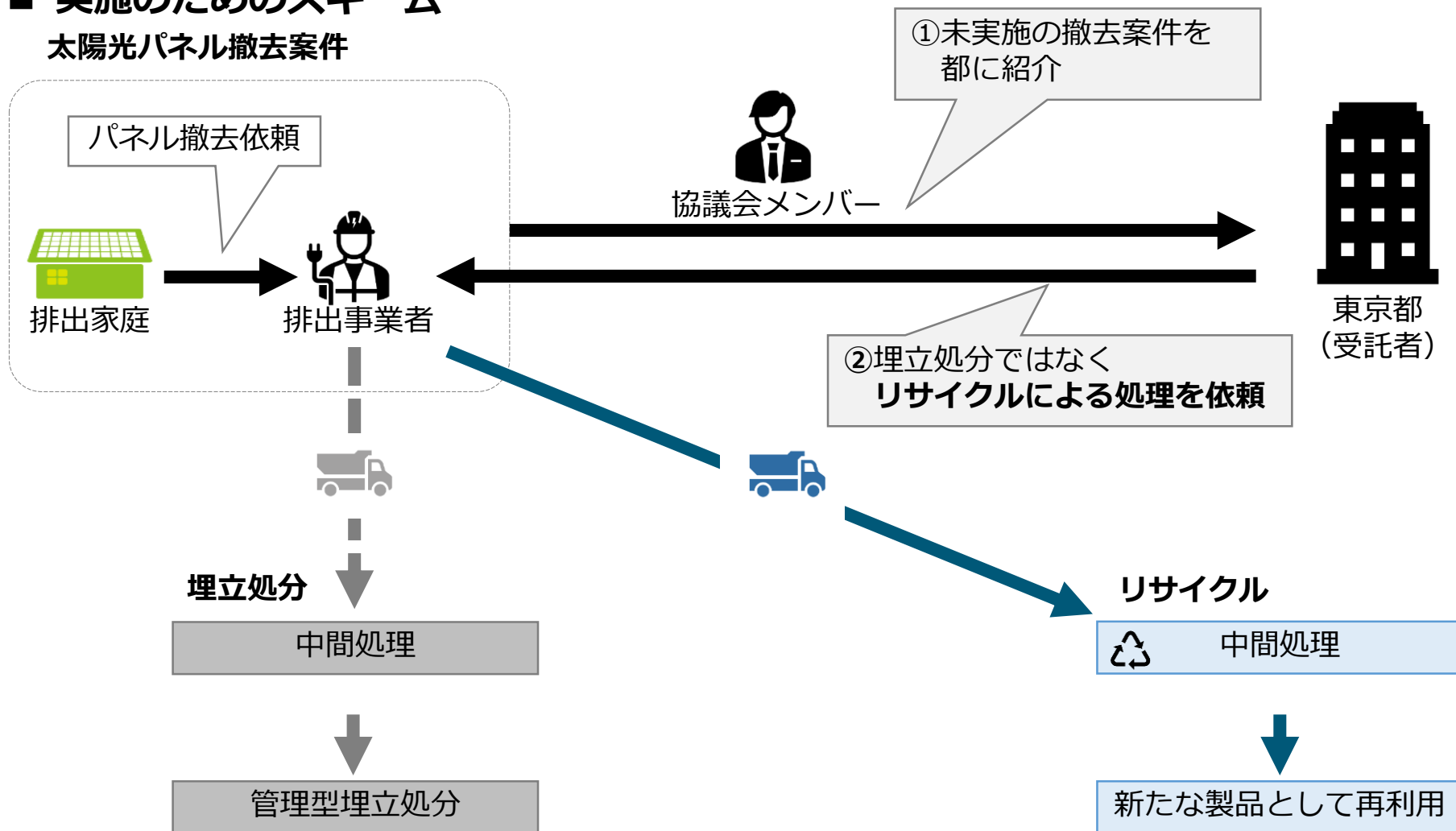
今年度協議会で実施する事項 リサイクルの実施

■ 実施目的

- 太陽光パネルリサイクルの先行実施案件の創出
- 太陽光パネルリサイクルの課題やノウハウの抽出・蓄積

■ 実施のためのスキーム

太陽光パネル撤去案件



今年度協議会で実施する事項 リサイクルの実施

■ 廃棄ケース情報提供のお願い

1. 実施期間

令和4年9月～令和5年2月（予定）

2. 対象となる案件

- 都内（島しょ部を除く）で発生する住宅用太陽光パネル撤去案件

※パネルの廃棄までに、調査に必要なお手続き（概ね2週間程度を想定）がかかることをご了解ください。

3. 協議会構成メンバーへの依頼事項

- 各業界団体の構成員の方への周知および協力依頼をお願いします。
- 撤去案件がありましたら東京都へ紹介をお願いします。

スケジュール

年間スケジュール

対応事項	2022年度			2023年度～
	7～9月	10～12月	1～3月	4月～
協議会の運営	第1回 ●	第2回 ●	第3回 ●	
リサイクルの実施		住宅用パネル撤去案件の情報共有 → リサイクルへ誘導 →		リサイクルへの 誘導を加速 →
マニュアル作成・周知		マニュアル作成 →	周知 →	マニュアルの 周知 →
情報提供・周知等			リーフレットの 作成・周知 → 相談体制の検討 →	都民への 情報提供 → 相談体制構築 →